

# 福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステム

## 機能回復検討委員会 第1回委員会議事概要

### ■機能回復検討委員会の設置の目的

福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムは、福田漁港の埋没対策、浅羽海岸の侵食対策のために導入された恒久的な砂輸送システムです。近年土砂移動量の減少及び度重なる機械の故障に起因した不具合が発生していることから、サンドバイパスシステムの機能回復に向けた対策を検討することを目的として設置しました。  
 ※委員構成：海岸工学の学識者3名、機械工学の学識者3名の計6名の有識者によって構成された委員会。

### ◆有識者による意見・提案(令和7年7月4日:第1回委員会開催)

- 機能回復をするための対策案を検討するにあたり、建設当時の条件の確認、現状(土砂移動量の減少)の原因について有識者の共通認識が図られました。
- ・土砂移動量の減少の原因は、大別すると①支障物・②海底地形・③設備であり特に①支障物と③設備の影響が大きいと考えられる。
  - ・ジェットポンプ周辺に支障物(流木・粒径の大きな石・砂利)が集積・堆積していることで、砂の吸引に支障が生じていること。(①支障物)
  - ・故障や不具合の発生時に早期対応できるように予備品等を常に備えておくこと。また、長期的に専門メーカーではなく汎用性のある部材の置換を考慮すること。(③設備)

### ●第2回委員会(令和7年10月17日開催予定)に向けて

- 委員会の意見や提案を受けて、機能回復させるための対策検討を進めるため、更なる現状分析を行うとともに、以下の調査実施等を検討して行きます。
- ・ジェットポンプ海底周辺の状況把握のための水中カメラ等による撮影
  - ・ジェットポンプ周辺の支障物堆積状況を把握するための地層探査
  - ・支障物の面的除去の施工の検討
  - ・施設周辺の砂の粒径調査及び砂の締固まっている状況調査
  - ・設備メーカー等にジェットポンプの改良についてヒアリング



図1：サンドバイパスシステム概要図

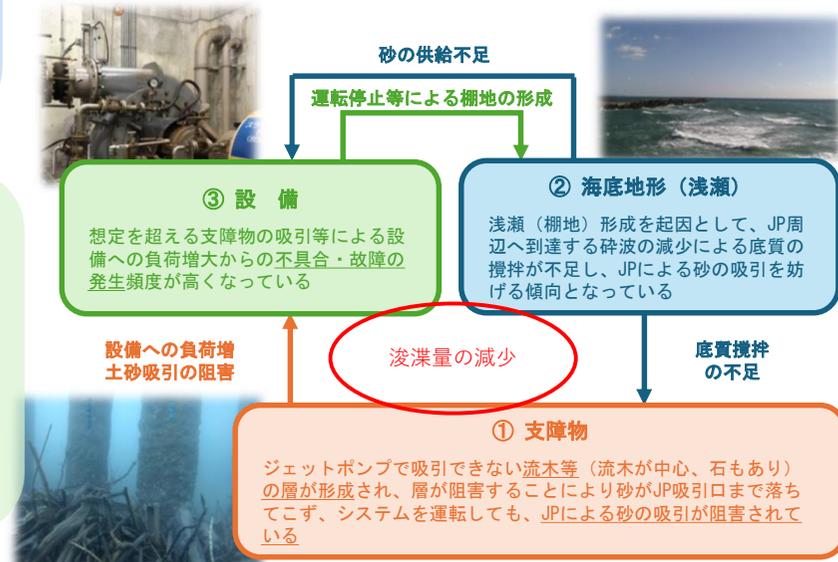


図2：土砂移動量低下の要因相関図